

こたんめーる 93号

2017年11月1日 発行

〒059-0902

北海道白老郡白老町若草町2丁目3番4号

Tel 0144-82-3914 Fax 0144-82-3685

一般財団法人アイヌ民族博物館



11～12月の催し物 ご案内

秋のコタンノミ (集落の祭り)

年に2回、春と秋に行う儀式です。

集落や家の祭神へ、自然の恵みを感謝するとともに、人々の健康を祈願します。翌日にはオメカブ (後祭り) を行います。



日時：11月5日 (日) 10:30～コタンノミ

11月6日 (月) 13:00～オメカブ

会場：ポロチセ

巡回ミニパネル展 ポロコタンのいきものたち

白老周辺の動植物について、アイヌとの関わりや、いきものたちの特徴などを紹介します。



日時：11月下旬～

会場：アイヌ民族博物館 ほか

※その他の会場および展示内容については、裏面をご覧ください。

北海道弁で「オンコ」

平成29年度 アイヌ語入門講座



カルタ、映像資料、民具資料などを使いながら、伝統的なアイヌ文化についても楽しく学べるアイヌ語講座です。

(主催 アイヌ文化振興・研究推進機構)

日時：11月10日 (金)、11月24日 (金)

12月15日 (金)、12月22日 (金)

17:30～19:30

会場：しらおいイオル事務所チキサニ

講師：山道ヒビキ

対象：どなたでも受講できます。申し込み不要。

料金：無料

アイヌ文様を作ろう!～フェルト編～

フェルトを切って作ったアイヌ文様を貼り付けて、オリジナルのランチバックを作ろう!

日時：12月23日 (土・祝)

10:00～15:00

(作業時間約30分)

会場：ポンチセ

対象：どなたでも

※小学生以下は要大人同伴

定員：先着15名 ※事前予約優先、当日受付可

料金：入場料 (白老町民は入場無料)+500円～

※文様を張り付けるバックなどはお持ち込みできます



※写真はイメージです。

毎月開催中! いずれも入場料のみで参加できます

オルシペ アヌ ロー!～物語を聞いてみよう!～

日時：毎月第2・4土曜日 14:45～

会場：ポロチセ

コタンの樹木案内

日時：ご希望の時間をご連絡ください

会場：ポロコタン屋外 (コタンコロク像前集合)

定員：1～10名 ※要予約 (前日16:00まで)

2018年の催し物 ご案内

アイヌ文化教室

第5回 いろいろを囲んでイペアン ロー

チセのなかで伝統料理を作って食べる体験学習です。イペバスイ (著) の制作体験も行います。

日時：2018年1月21日 (日)

9:30～13:30

会場：ポンチセ

対象：12歳以上 (包丁や小刀を使います)

定員：10名 ※要予約

料金：入場料 (白老町民は入場無料)+1500円

※詳細については、お問い合わせください。

第6回 アイヌ語で言ってみよう!

絵本やアニメを使ってアイヌ語を学ぶ教室です。

日時：2018年3月上旬

対象：アイヌ語が好き・興味のある子どもたち

ご予約・お問い合わせ 0144-82-3914



Facebook、Twitterでも情報をご覧いただけます。
コタンメールはホームページへも掲載しています。

URL: www.ainu-museum.or.jp
編集/発行: アイヌ民族博物館 学芸課

チセホプニレ（家の送り儀礼） と 丸木舟のイワクテ（物神の送り儀礼）

～長年お世話になったカムイたちへの感謝～

アイヌは、自然や動植物だけではなく、自分たち人間がつくった道具類にも魂が宿ると考え、日常的に使う舟や臼といった道具や家なども、カムイ（神）として敬ってきました。

当館では伝統文化伝承・保存事業として、春と秋のコタンノミ（集落の祭り）やペッカムイノミ（豊漁祈願）などの伝統的な儀式を毎年定期的に行っておりますが、今年は恒例の儀式だけではなく、長年お世話になった物神たちへの儀式も行いました。

チセホプニレ ～担い手研修でお世話になったチセ～（2017年9月1日）



屋内での祈りの様子

「民族共生象徴空間」の整備に伴って、ポロト湖畔のチセ及びプ（食料庫）などの周辺施設が解体されることとなり、家の神々を天界へと送り帰すための「チセホプニレ」が行われました。このチセ等は、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の伝統的生活空間（イオル）再生事業の一環で2008年～2010年の間に建てられ、白老イオル事務所チキサニでの体験交流事業などで活用されてきました。

伝承者（担い手）育成事業との関わりも強く、第1期生（2008～2010年度）は1号チセの建築や建築に関する儀礼で活躍し、第3期生（2014～2016年度）はプの修復を行うなど、建築技術に関する研修などで活用してきました。最後となるチセホプニレには修了生を含む10名の研修生も参列し、今年度から研修が始まった第4期生は、神酒を注ぐ役目や魂を家から解くために刃物で柱に傷をつける役目を務めました。



湖畔に建てられていたチセ

丸木舟のイワクテ（2017年10月1日）



祭壇の前に置かれたチブ

日常的に使う道具のなかでも、特に重視されている舟と臼は、カムイとして儀礼の対象となります。舟のカムイは、多くの場合女性のカムイとして考えられており、祈り言葉では「ニمامカツケマツ（舟なる女神）」などと呼ばれます。

10月1日、ひび割れたため乗れなくなった当館のチブ（丸木舟）一艘に対して、7年ぶりとなる「イワクテ」を行いました。屋外の祭壇に祭られたチブへの祈りが終了すると、その魂を解くために刃物で舟に傷がつけられ、その後チブは解体されます。かつては、解体の際に使いそうな部分があればとっておき、イタ（お盆）などをに再利用していました（しかし、今回はひび割れがひどかったため、残念ながら再利用はできませんでした…）。



祭司によるチブへの祈り

巡回展ご案内

巡回ミニパネル展 ポロト・コタンのいきものたち 各会場での開催予定

| 会場 | オオウバユリ | ハマナス | イチイ |
|--------------------|--------|------------|------------|
| アイヌ民族博物館 | 終了 | ～11月中旬 | 11月下旬～ |
| しらおいイオル事業チキサニ | 終了 | ～11月中旬 | 11月下旬～ |
| 萩の里自然公園センターハウス※1 | 終了 | ～11月中旬 | 11月下旬～ |
| ポロト自然休養林ビジターセンター※2 | ～11月中旬 | 2018年度開始予定 | |
| キウシト湿原ビジターセンター※3 | 終了 | ～11月中旬 | 2018年度開始予定 |

※1 …11月～3月末日は、土日（9：00～15：30）、水（10：00～15：00）のみ開館。

※2・3 …11月下旬～3月下旬は冬季閉館。